

定年後開業税理士の日誌 1

私は平成27年7月に税務職員として定年退職を迎えた。再任用の道もあったが、私の生年月日は61歳から比例報酬分の年金がもらえたのと少しのんびりしたい気持ちがあったので職場を去った。幸いに税理士登録の資格があったので登録申請して平成27年8月末に税理士を開業した。

なお、自宅を事務所として申請したので、事務所として適正か間取図の提出や実地検分があったが無事にパスできた。

9月上旬に大宮で関東信越税理士会の入会式があり税理士バッチが貸与された。



しかし開業したからといって、すぐに客が飛び込んでくるわけでもなく営業の仕方もわからないので、ホームページを作成しようと

思い立った。

時間もたっぷりあるので HP 用 Q&A 集を毎日作成しながら日々を過ごした。書くことによって自分の勉強にもなった。

その間に税理士登録名簿が公表されたのか、会計税務ソフト会社、書籍会社、生命保険会社の営業マンの訪問が多くなった。

そこで先輩に相談し、また熱心に営業に来てくれた JDL の会計税務ソフトを 10 月上旬に入れることにした。

客がないので自分の経費を入力することから始めた。また解説書の例題を入力したりして会計税務ソフトの練習を行った。JDL の良いところは、わからないところがあるとパソコンの画面を共有して質問できることである。これからたびたびお世話になることになった。



また、10月上旬には税理士会新発田支部の例会、研修会があり新入会員の挨拶をし、また月岡に泊りで懇親会があった。今回、新発田支部新入会員は同期3人がいたので心強い思いであった。

11月に入ると大宮で3日間の登録時研修があり参加した。新潟からは通えないのでホテルに2泊した。

関東信越税理士会のホームページは今後税理士業務をやっていく上での参考になる様式や、資料、ネット研修が沢山アップされていて非常に参考になった。

12月に税理士会経由で阿賀野市の個人確定申告研修会の講師の依頼を受け阿賀野市で説明会を行った。

退職してから平成27年12月末までに税理士として行った仕事は12月の上記説明会1日だけであった。やや今後に不安があったが、時間はたっぷりありOB会、同期会、子供たちの還暦招待旅行、夫婦京都旅行を楽しんだ。



また会計税務ソフト練習や税法の勉強も充分でき平成２８年に期待をかけた。